

議事録

審 議 会 等 名	平成 3 0 年度 第 3 回つくばみらい市図書館協議会
開 催 日	平成 3 1 年 2 月 2 6 日（火曜日）
開 催 場 所	つくばみらい市立図書館 2 階 会議室
出 欠 者	出席委員 飯田博委員，富田委員，直井委員，中田委員 小林委員，重松委員，石塚委員，土田委員 欠席委員 飯田文夫委員，大好委員 事 務 局 福田教育長，吉田教育部長（以下吉田部長），直井生涯学習課長（以下直井課長），大久保館長，広瀬館長補佐（以下広瀬補佐），木村司書
議 案	（１）図書館運営について 平成 30 年度活動実績について （２）指定管理者制度の導入について（答申案） （３）その他
議 案 概 要	1 開会 午後 1 時 2 5 分 司会進行：広瀬補佐 2 教育長あいさつ（福田教育長） 3 図書館長あいさつ（大久保館長） 4 会長あいさつ（飯田博会長） 5 議事 （１）図書館運営について 平成 30 年度活動実績について （２）指定管理者制度の導入について（答申案） （３）その他 （質疑等） （１）図書館運営について 木村司書から，活動実績について報告。 飯田会長：絵画教室の参加者 1 7 名ということだが，人数は多かったのか？ 木村司書：定員 2 0 名中当日キャンセル 3 名で，1 7 名となりました。 飯田会長：学校と図書館との連携会議の参加者は，（学校）図書館担当の先生ですか？ 木村司書：担当されている司書教諭の先生や学校司書，図書館職員となります。 吉田部長：来館者数やブックスタート等，前年と比べてどうなってい

るのか？

木村司書：ブックスタートについては、対象者に対する配付率94%となります。ちょちちょちはなし会については、前年比159%、おはなし会については、85%となります。
来館者数については、正確には計測できておりませんが、増加傾向にあります。

飯田会長：不明になる資料は毎年同じくらいですか？

木村司書：毎年変わらず、初年度は200弱、3年間不明になると、データ除籍をしているが、100弱くらい不明になっています。

（2）指定管理者制度の導入について（答申案）

広瀬補佐から、資料をもとに、現在までの審議経過、答申案等について説明。意義なしのため、図書館は市直営による運営との答申案が可決されました。

（3）その他（事務連絡）

広瀬補佐から、答申案の内容については、会長に確認後、答申案を各委員へ配付する旨連絡。

重松委員：資料1ですが、いつのデータかがわからないため、日付をいれたほうがいいと思う。いつの日付のものか？

広瀬補佐：日付は本日現在としてのものになります。

土田委員：審議結果内の文章「また、全国的にも指定管理者制度の導入率は平成29年3月末現在で16.5%と低く」はいらないと思います。市の状況と合わないから導入しなかったという内容を盛り込んだほうがいいと思います。

重松委員：守谷市（の図書館）が指定管理者制度を入れたのは何年前か？

広瀬補佐：3年前になります。

大久保館長：守谷市の場合には、指定管理者に委託する以前から、直営と比べてひどい運営だという市民団体の声が毎月のように市へあがっていたようです。

飯田委員：図書館の立ち上げから市民団体が携わっていた図書館だから、指定管理者はあまり馴染まなかった。

重松委員：文化協会でコミセンを利用しているが、市内のコミセンが指定管理者になったとき、杓子定規の対応で、直営時よりも対応が悪くなったことがあった。現在はよくなった。

直井課長：みらい平コミセンは開館当初から指定管理者が運営してお

	り、新規開設ということどうまくいった。直営で運営していた他のコミセンをみらい平と同じやりかたで運営したため、打合せがうまくいかず、問題が起こった。問題が起こった時、市ですぐに対応を行い、現在は問題なく運営できている。現在、図書館の分館は、本館で指導・監督している。コミセンと同様に、本館の職員が直営で分館を指導していくことどうまくいくのではないかと思います。 答申案については、土田委員の言う部分については削除し、守谷市等を参考に、市の現状から判断したという内容に修正します。その変更は会長に一任でよろしいでしょうか。 土田委員：大丈夫です。 石塚委員：管理費・消費税が指定管理者に入っているがどういことでしょうか。 直井課長：指定管理者は企業が事業として図書館を運営するため、市からの委託料のうち、職員の管理費等を利益として見込んでいる。また企業の事業としてとらえられるため、企業は消費税を支払わなくてははいけません。 6 閉会 午後 2 時 2 1 分 司会進行：広瀬補佐
そ の 他	傍聴人 0 人